

□ 農食品部は、その韓牛農場で口蹄疫感染が確認されたことを受け、移動制御、集中消毒とその農場を中心に移動制限（3km）を設定して、農家予察など緊急防疫措置中。

○発生農場と農家の家族が運営する農場など4戸については、予防的殺処分を実施し、500m以内偶蹄類の農場（14戸）について精密検査を実施すると発表した。

○これとは別に、安城市金光面の口蹄疫が最初に発生した乳牛農場周囲500m内の農場（9戸）については、予防的殺処分を進めている。

□ また、農食品部は発生郡（安城市）をはじめとし、京畿道と隣接地域である忠清北道、忠清南道などで飼育されているすべての偶蹄類の飼育農場に対して段階的に緊急ワクチン接種を実施している。

〈ステップ緊急ワクチン推進計画〉

- ◆（1段階）発生地域である安城市牛、豚全緊急接種（1.28-1.29）
- ◆（2段階）発生地域隣接6市郡（利川市、龍仁市、平沢市、天安市、鎮川郡、陰城郡）牛、豚全緊急接種（1.29-1.30）
- ◆（3段階）1、2段階を除く京畿道、忠清南道、忠清北道、世宗特別自治市、大田広域市緊急接種（1.30-1.31）

□ 口蹄疫防疫対策本部長である農食品部長官は、「警戒」段階での危機段階格上げ措置を通じて口蹄疫が追加に拡散しないように総力対応と明らかにした。

○畜産農家ではワクチン接種、進入防止防疫など防疫に総力を投じるとともに、国民の皆様は、防疫により多少不便があっても口蹄疫拡散防止のためのやむを得ない措置であることとり、協力してくれることを要請した。